

葉面散布の注意点と具体的使用方法の提案〔もも・ネクタリン〕

1. 作物は、根からでなく、葉からも養分を吸収することができる。葉から直接養分が吸収されるので、速効性がある。
しかし、根からの吸収量に比べて少なく、あくまで補助的な手段になる。
2. 下記のような条件等において、葉面散布の効果が期待(有効)できます。
 - ①天候不順(日照不足・異常高温低温等)があり、根の養分吸収機能が低下している。
 - ②土壌に施用しても、不可吸態になり、植物に吸収されにくい。 ③着果過多による同化養分の補給が追い付かない。
 - ④微量要素欠乏による生理障害が予想されたり、初期症状が発生した。
 - ⑤養分不足を急速に回復したい。 ⑥作物の品質向上を図る。

3. 注意点

- ①葉面散布における最適な温度は、15～25℃程度。5℃以下では、吸収が大幅に減少し、30℃を超えると葉焼け症状の発生が多くなるため、使用を控える。また、範囲内であっても、希釈倍率を薄めて、使用する事が望ましい。
- ②幼木や若い柔らかい葉はど、薬害を生じやすい。

4. 具体的使用方法の提案 ※あくまで、使用例です。表面と使用方法が異なる場合があります。

※複数ある資材は、選択して使用下さい。

□で囲われた商品が、
特におススメで

薬剤防除時期 (散布時期目安)	第1回 (3月中旬)	第2回開花直前	第3回満開後頃	第4回落花10日後
凍霜害対策	第1回防除後に1回、第2回防除前に1回、単用散布 霜ガード: 50倍又はアイスバリア250倍		第3回・第4回防除に混用散布 または単用散布 霜ガード: 100倍又はアイスバリア250倍	
品質向上 花芽充実 生理障害 対策	開花予定7日前頃に単用散 アミノメリット黄: 500倍	開花後に単用散布 アミノメリット黄: 500倍	第3回防除5日後頃に単用散 アミノメリット青: 500倍	防除に混用散布 ケルパック66: 5,000倍 又は 友果: 500-1,000倍 又は オルガミン: 1,000倍
防除時期	第5回～第8回 (5月上中旬～6月中下旬)	第9回～第10回 (7月上旬～7月中下旬)	除袋後	収穫2日前
品質向上 花芽充実 生理障害 対策	防除に混用散布 ケルパック66: 5,000倍 又は 友果: 500-1,000倍 又は オルガミン: 1,000倍 + グリーントップ70: 500倍 又は リーフマグ: 1,000倍	防除に混用散布 ケルパック66: 3,000倍 又は 友果: 500-1,000倍 又は オルガミン: 1,000倍 又は モーニングシャイン: 1,000倍 + ストピットⅡ: 500倍 又は スイカル: 1,000倍 又は カルビタ: 1,000倍 又は カルタス: 500-1,000倍	防除に混用散布 ケルパック66: 1,000倍 又は 友果: 500-1,000倍 又は オルガミン: 2,000倍 又は モーニングシャイン: 1,000倍 + メリット赤: 500倍 又は カルビタP: 770倍 又は 色一番E: 1,000-2,000倍	防除に混用散布 ケルパック66: 1,000倍 又は 友果: 500-1,000倍 又は オルガミン: 2,000倍 + メリット赤: 500倍 又は カルビタP: 770倍 又は 色一番E: 1,000-2,000倍
	単用散布、2～3回 硫酸マンガン: 250倍 又は 液体硫酸マンガン: 200倍 又は グリーンデイズ: 500倍			